



Vol.18
夏号

真宗大谷派 (東本願寺)
広島別院教化委員会発行

ひかくひせんほうえ 非核非戦法会が勤まる

七月六日(木)、非核非戦法会(兼原爆死没者追悼会)が勤められました。勤行後、北広島町光楽寺前住職の菅川良智師(安芸北組)が、自らの戦争体験を交えながら法話をされました。

菅川師は「殺してはならない。殺させてはならない。」という釈尊の言葉を引用し、仏教徒であるならば絶対に戦争をしてはならないと話されました。

そして、明治以降、軍国主義へと傾いていく時代の中で、反戦を訴え死刑になった高木顕明師や、「戦争は罪悪である」と訴え投獄された竹中彰元師、反戦・神祇不拝を訴えたため、大谷大学学長の職を追われた河野法雲師など、非戦の態度を貫いた仏教者たちを紹介されました。

また、戦前と現在の世相を比較しながら、「最近では憲法を改正し、軍隊を作ろうとしているが、作れば戦争は必ず起きるものだ」と話されました。

菅川師自身、十九歳の時に戦地に行かれました。終戦間際でわずかな訓練期間しかなく、当時の上官に「お前たちは消耗品だから、(敵の弾丸をへらすために)一発でも敵の弾を受けて死んでいい。そうすれば靖国神社の神様にしてもらえぞ」とか、「お前らはしよせん、三銭五厘もあればいくらでも呼べる」(兵士を招集するのに必要な郵便の値段)と言われたそうです。

最後に「戦争は人間のいのちが軽視され、人間自体を異常にしていく。だからこそ、戦争をしてはならない。原爆のような恐ろしい兵器は絶対に作ってはならない」と話されました。



講師：菅川良智師

【お寺の活動】 Fブロック同朋大会 開催

Fブロック同朋大会 開催

Fブロック同朋大会が五月二十一日(日)、アステールプラザで開催され、安芸南組・安芸北組・芸備組のご門徒をはじめ、新聞広告を見て応募した一般参加者ら、約一〇〇人が集いました。

大会では精神科医の香山リカさんの講演とシンガソングライターで本願寺派僧侶の二階堂和美さんのコンサート、そしてお二人の対談が行われました。

講演で香山さんは「人には本来、苦悩のどん底から立ち直る底力が備わっている。しかし、苦悩は人間の知性や理性で解決できるわけではない。立ち直っていく人たちは苦悩を解決するのではなく、むしろそれを抱えたまま生きていく。たとえ苦悩を解決出来なくても、仏様など人間を超えた大きなものに身をまかせていくことも大切なのではないか」と話されました。

二階堂さんのコンサートでは、ジブリ映画でお馴染みの歌や軽妙なお話に会場は大いに沸きました。

対談では「医師と僧侶のお悩み相談」と題して事前に寄せられた様々な悩みを通して、医師・僧侶という立場から活発な意見が交わされました。



香山リカさん



二階堂和美さん



広島別院

列座・書記のご紹介

二〇一七年六月一日付け、左記の者が広島別院明信院の列座・書記として任命されました。よろしくお願い致します。



水野 元 (妙蓮寺)
*列座 兼 書記



寺川大乗 (教徳寺)
*列座 兼 書記



高橋仁誓 (得藏寺)
*列座

【列座・書記とは】
別院の法務や様々な寺務に従事する役職です。

広島別院団体参拝

左記の団体が広島別院明信院に参拝されました。お参りいただき、誠に有難うございました。

六月二十五日

安芸南組 正専寺様

七月五日

日豊教区 四日市別院様

お寺のハテナ？

ほんぞん わきがけ ご本尊・脇掛



真宗門徒の家庭では、お内仏の前で手を合わせ、お勤めと仏法聴聞を基本とします。

そのお内仏の中央にはご本尊の阿弥陀如来を安置します。そして「お脇掛」として向かって右側に十字名号（帰命尽十方無碍光如来）または宗祖親鸞聖人の絵像、左側には九字名号（南無不可思議光如来）または蓮如上人の絵像をお掛けします。

真宗はご本尊（私にとって本当に尊いこと）とは何かを明らかにする教えです。ご本尊に合掌礼拝することは、ご本尊を通して阿弥陀如来の本願を聞き人間としての真実に目覚めていくことです。阿弥陀仏以外の仏像やお札、故人の写真、位牌などはお内仏の中に置きません。

一人でも多くの方に内仏のある生活をしていただけたら、よう、小型の三折式のご本尊もあります。御手次のお寺にお問い合せください。



法座・講座等の御案内

あき ひがん え 秋彼岸会

【期日】 九月二十五日(月)

【講師】 講師 灘尾 寛師

(安芸南組 徳栄寺住職)

日程 午後二時〇〇分～勤行

三時〇〇分～法話

四時〇〇分 終了予定

昼夜の時間が等しくなるお彼岸の時節に、阿弥陀様の願いを聴聞する法会です。ご家族・ご友人、お誘いあわせてお参り下さい。



道場樹【編集室より】

五月中旬から、母が入院した。「留守中、どうしよう・・・」と思った。今まで、たくさんのお事をしてもらっていたけど、いざ、家事をやるとなると、まあ大変！。大切なものは失ってみたいとわからない。という言葉思い出した。

で、退院して帰ってきた。「元気に帰って来ることができてよかった」と安心。しかし足の調子が悪く思うように動けない。「あれを取ってくれ。これを持って行って。金融機関にこれを・・・」なんやかんやと言ってくる。正直、「動けるようになって退院してもらえばよかった・・・」と思う始末・・・。あれ？失うことによって得るものがあったのに・・・。本当に感謝しきれなかったんだなあ。自分、この戦いは続く。でも、これだけは言える。料理が上手になった笑

(G・M)

◎定例法話

毎月 5日

日程 14:00～勤行と法話

15:00 終了予定

講師 県内僧侶 (月替わり)

広島別院開基 教如上人の御命日 (毎月 5日) に法話会があります。

◎真宗基礎講座

2017年 8月19日(土)

10月21日(土)

12月16日(土)

毎回 13:30～16:00

講師 古田和弘 師 (大谷大学名誉教授)

参加費 500円

『歎異抄』を通して浄土真宗の基礎を学びます。

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342 (電話・FAX 共通)

【HP アドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>